

HOT NEWS

都議会ネット

■舛添要一知事辞職により、東京都知事選挙：7月14日(木)告示、31日(日)投・開票。
■都政フォーラム：7月25日(月)、樹木・樹林墓地見学会(都立小平霊園)。

地域ネット

八王子ネット

沖縄学習会(仮称)
7月14日(木) 13:00~15:00
喫茶店「アン」(京王線めじろ駅)
取り上げる本：加藤陽子著『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』朝日出版社
講師：島袋善弘(山梨県立大学名誉教授/うちなんちゅの怒りとともに三多摩市民の会)
TEL042-623-8802

品川ネット

子どもと教育を考える連続講座 第2回：今学校で起こっていること
7月16日(土) 10:00~12:00
きゅりあん5階第2講習室(JR・東急線・りんかい線大井町駅)
講師：曾根玲(品川区教職員組合委員長)
TEL03-5751-7105

小平ネット

生活者ネットワーク都議会議員西崎光子と
いっしょに見学 樹木・樹林墓地について知ろう!
@都立小平霊園
7月25日(月) 10:00~12:00
都立小平霊園管理棟(西武新宿線小平駅)
TEL042-342-4494

狛江ネット

子どもの居場所 ごはん作りと学習支援など
7月27日(水) 10:00~16:00 狛江市西河原公民館料理実習室と学習室2(小田急線狛江駅17分) 昼ごはん：そうめん(一律100円) 宿題学習支援など
8月1日(月) 17:00~19:30 同会場 夕ごはん：野菜いっぱいドライカレー(大人400円、子ども100円)
主催：食の安全を守る会、運動グループ狛江地域協議会 TEL03-3430-1302

稲城ネット

LGBTを知るために〜一人じゃない…一緒に考えよう〜
8月25日(木) 18:00~20:00 稲城市立iプラザ大会議室(京王線若葉台駅)
講師：原ミナ汰(NPO法人共生社会をつくるセクシャルマイノリティ支援全国ネットワーク代表) 参加費300円(資料代)
主催：運動グループ稲城地域協議会
TEL042-379-2435

都政の信頼回復に舵を切れ!

東京・生活者ネットワーク都議会議員「世田谷区」西崎光子

6月15日第2回定例会最終日、舛添要一知事が辞職願を提出。石原、猪瀬、舛添と、この4年で都知事が3代続けて任期途中退場という異常事態である。舛添知事の一連の問題で問われたのは、その言葉の軽さであり、政治家としての資質である。(4面に関連記事)



東京都議会第2回定例会で一般質問に立つ、東京・生活者ネットワーク都議会議員「世田谷区」の西崎光子。6月8日、都議会議事堂本会議場(新宿区)

舛添知事の公私混同疑惑

舛添知事の一連の公私混同、公金の私的流用問題などにより、議会は完全に空転状態となった。知事は、記者会見や所信表明で、代表質問、一般質問でも、さらには総務委員会の集中審議においても、謝罪と反省の弁に終始し、珍妙な言い訳を並べただけだった。

今回の一連の問題は、高額な海外出張や公用車の不適切な使用に始まり、政治資金の使い方にかかる私的流用が次々と明るみになるかたちで進行した。問題発覚時には「問題ない」「ルール通り」と述べたが、批判に対しては「自分には責任がない」と言い募

り、さらに批判が収まらなくなる。謝罪と一部改善を示した。その挙句、道義的判断までも、弁護士に丸投げし「不適切ではあるが違法ではない」というお墨付きを引き出し、落着を目論んだ。非常識な使途と弁明が、説明を重ねるたびに都民の疑念といら立ちをふくらませ、政治家不信、ひいては政治不信を著しく増幅させてしまった舛添知事の責任は極めて重い。

知事が辞任したとしても、都議会は、都民に対し事実を明らかにするため、議会の権能を使い、百条委員会が必要であり、生活者ネットはその設置を提案した。

失墜した都政への信頼

この間寄せられた苦情は3万件超。都庁は大混乱機能不全に陥っており、都政を停滞させた罪は重大である。度重なる外遊について、「都市外交の成果を見てほしい」と胸を張ったが、都民は「世界一の都市」「史上最

高の五輪」をめざした成果を求めているのではなく、知事はもっと足元の子育てや介護などの問題にこそ目を向けるべきだった。

この4年間で3人も知事が辞任し、うち2人は「政治とカネ」の問題の故であり、都政は史上最悪の事態となっている。失墜した都政への信頼を回復するのは、容易ではない。

一方、都政をチェックするべき都議会では、昨年10月ようやく設置された「都議会のあり方検討会」が、少数会派を排除した主要会派(自民3・公明2・共1・民1・進1)をメンバーとして非公開で開催されている。最初の検討項目として今議会に定数条例の改正を提案したものの、昨年3月から継続審議となつている費用弁償の見直しは今議会も継続、セクハラヤジを発端に立ち上げたはずの男女共同参画議連も動きはなく、議会改革と呼ぶに値しないまま、都議会議員の任期は残り

1年。全国の自治体の中でも議会改革が最低とされている都議会は、開かれた議会をめざし情報公開を進めながら議会を改革し、行政・自治体運営の健全化を導いていく役割を今こそ果たさねばならない。

都知事選挙に向けて

都政の課題は山積しており、若者の雇用環境や待機児問題、子どもの貧困などなんとしても解決策を見出し、いかなければならない局面にある。人口減少時代が到来し社会構造が大きく変化する中で、現政権がしがみついている20世紀型経済社会からの脱却が迫られている。誰もが安心して暮らせる東京をつくるために、今度こそ真に都民のための都政運営を行う新しい知事を誕生させねばならない。



都議会生活者ネットワークの都議会議員、左から山内れい子[国立市・国分寺市]、西崎光子[世田谷区]、小松久子[杉並区]

注：自民・公明は2増2減、民・進は6減、ネット・共産は国勢調査の速報値に基づいた人口比の6増6減をそれぞれ議員提案として採決が行われたが、定数条例は自民・公明案の2増2減が賛成多数で可決。

生活者ネットワークは都内35の自治体にあり、それぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区を超えた東京問題・国政問題には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

生活者ネットワーク3つのルール

1 議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2 議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3 選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。